

- * バス折り返し場内では、清泉女学院行きのバス停があるので、生徒がバス乗車待ちのため「すかいらーく」の前まで連なる時もあり歩道上が混雑します。（写真④）
- * 新富岡橋の交差点では、清泉女学院行きのバス停へ向かう生徒が断続的に道路を横断するために、車両の右左折がスムーズにいかず渋滞の一因となっています。（写真⑤）
- * 駅前の道路は、大和橋と新富岡橋の信号機の距離間隔が短いことや駅前の広場内に送迎の乗用車などの駐停車が多く、渋滞を引き起こしています。また、休日などには「すかいらーく」からフラワーセンターまでつながるほどになります。（写真⑥）
- * 西口駅前では、バス降車場の歩道が狭いため、ピーク時には降車客と歩行者であふれ、歩行が困難な状態になります。（写真⑦）
- * その他にも、大船駅西口にある駐輪場は、利用率が高く待機者がでるほどで、収容能力が不足しています。また、現在、西口には6つのバス停がありますが、3箇所に分散しているため、バス利用客にとっては分かりにくいものとなっています。

【解決方針】P 6

これらの問題点について発生原因などを分析し、その解決方針を定めました。

方針 1 歩行者デッキ（立体横断施設）によって解決を図る。

方針 2 バス折り返し場の集約化（再整備）により解決を図る。

方針 3 駅前のバス、タクシー、一般車などの乗降場の施設等の整備により解決を図る。

【整備内容】P 4

1. 歩行者デッキの整備
2. バス降車場の歩道幅員の確保
3. バス折り返し場の集約化（再整備）
4. 一般車両の駅前乗入れスペースの確保
5. 身障者駐車スペースの確保
6. 新富岡橋に左折レーンの配置
7. タクシー降車スペースの確保
8. 大船停車場藤沢線（すかいらーく前）に左折レーンの配置

【配置計画】P 7

整備内容に基づき、歩行者デッキのルートと駅前の乗降場の施設配置について、それぞれ4案を設定し、評価項目を設け比較検討を行いました。なお、デッキのルートについては、「歩行者と車両分離による安全性と快適性の確保」が

計画の目的ですので、利用者の安全性、利便性における評価を他の項目に比べ重みづけし、比較しました。

その結果、デッキのルートは、第3案が施工性、景観への配慮などに優れていて最も評価が高いものでした。また、乗降場の施設配置は、第3案がバス、タクシー、一般車ともに乗降場が長く確保でき、大和橋の一般車の駐停車による交通阻害を防止できるなどから最も評価の高いものでした。

これらの案を組み合わせたものが、3ページの素案となりました。

【今後のスケジュール】

この整備計画の策定にあたっては、地域住民を主とした「大船駅西口駅前整備計画会議」などで意見をいただきながら進めています。また、市民の皆様からも意見をいただき、それらを踏まえ、3月末までに歩行者デッキのルートと乗降場の施設配置を定める素案を計画として確定します。

なお、平成 19 年度は、この計画に基づき歩行者デッキの構造・意匠形態及び駅前の施設配置の詳細設計を行う予定です。

また、整備工事につきましては、平成 20 年度から平成 22 年度末までの予定となっています。